

210) 最後の手紙

あなたと一緒に砂浜を ドライブしたのは2年前
わたしが^{じゅうく}19歳の秋でした ^{いぬぼうざき}犬吠崎までよく見える
海岸通りはコスモスが 風に揺らいでいましたね

そして別れがこんなにも すぐ来るなんてどうしても
理解できずにいるのです だからとめどなく流れ出る
^{ぬぐ}涙拭ってあの人に 最後の手紙書きましょう

あなたと一緒に大空の ^{しあわせぼし}幸福星を見つけた日
あれからどれだけ過ぎたでしょう
あの日のことばが懐かしく 思い出されてくるのです
どうしてお別れできるでしょう
あなたは遠い人となり わたしの声など届かない
^{わか}解かっ^ていながら叫びます

あなたの面影追いかけて あなたの思い出追いかけて
恋物語は終わります あなたでなければ作れない
思い出ばかりがよみがえる ひとりぼっちのわたしです

実らぬ恋は美しく 素敵な過去になるでしょう
きょう新しい^{かどで}門出です だからとめどなく流れ出る
涙拭ってあの人に 最後の手紙書きましょう